

防災×テクノロジー
官民連携プラットフォーム

第10回マッチングセミナー プログラムのご案内

テーマ：防災産業の育成とレジリエントな社会の実現

日時：2025年2月20日(木)

開場：9時20分 開演：9時50分

開催場所：STATION Ai

セミナー会場（1Fイベントスペース）

技術展示 屋内展示(M3F大会議室)

技術展示 屋外展示(STATION Ai 駐車場・鶴舞公園会場)

国内最大級のオープンイノベーション施設に産官学金が一堂に集結し、
防災産業の育成と社会全体のレジリエンス強化を目指す取組を
紹介する内閣府主催のマッチングセミナーを開催します。

今回はパネルディスカッション、マッチングピッチや屋外展示など新たな企画を開催します。



災害対応を行う
地方公共団体・企業等の困りごと



マッチング



民間企業、研究機関等が持つ
先進技術・商品・サービス

社会全体のレジリエンス強化へ

プログラム (イベントスペース)

午前の部(9時50分～12時)

時間	セミナー	内容
9時50分	開催前案内	本日のプログラム概要・注意事項
9時55分	開会挨拶	開会挨拶 内閣府
10時00分	メイン講演 名古屋大学	「能登半島地震に学ぶ南海トラフ地震対策」 名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫
10時20分	メイン講演 愛知県	愛知県が仕掛けるスタートアップ・エコシステムの形成 ー更なるイノベーション創出に向けてー 愛知県 経済産業局 革新事業創造部 スタートアップ推進課 藤井 智也
10時35分	メイン講演 スタートアップ・ ベンチャー企業	能登半島地震の学びから、国難級災害に備える WOTA株式会社 越智 浩樹
10時55分	休憩(5分)	
11時00分	メインセッション パネルディスカ ッション	防災×テクノロジーの未来 ～スタートアップの役割と期待～ モデレータ:一般社団法人 日本防災プラットフォーム 副代表 高田 佳紀 登壇者: 独立行政法人国際協力機構(JICA) 国際協力専門員 西川 智 株式会社Liberaware 代表取締役 関 弘圭 株式会社みずほ銀行 イノベーション企業支援部 部長 春原 康人 愛知県防災安全局 防災部 部長 岡田 晴道 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当) 吉田 和史
12時00分	休憩(60分)	

午後の部(13時～17時10分)

時間	セミナー	内容
13時00分	開催前案内	プログラム概要・注意事項
13時05分	マッチングピッチ	企業:技術・サービスピッチ 自治体・企業の災害対応を効率化する技術をプレゼン 民間企業7社登壇
13時50分	施策・事例紹介	「研究開発が生み出す技術シーズと社会実装に 向けた官民共創」 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 白田 裕一郎
14時05分	メイン講演 愛知県	あいちモビリティイノベーションプロジェクト 「空と道がながる愛知モデル2030」 ～災害時のドローンの利活用に関する取組について～ 愛知県 経済産業局 産業振興課 水野 祐介
14時25分	休憩(5分)	

午後の部(13時～17時10分)

時間	セミナー	内容
14時30分	メインセッション パネルディスカッション	災害をチャンスに変える～地域の未来を創るレジリエンス戦略～ モデレータ:名古屋大学福和名誉教授 登壇者 KTX株式会社 代表取締役 野田 太一 WAA ReSCue 主宰 島田 由香 岡崎信用金庫 副理事長 畔柳 雅宏 名古屋市経済局 局長 吹上 康代
15時30分	休憩(5分)	
15時35分	メイン講演 スタートアップ・ベンチャー企業	スタートアップがいかに防災を変えるか －AIで挑む防災DXの最前線－ 株式会社Spectee 村上 建治郎
15時55分	マッチングピッチ	自治体:課題・ニーズピッチ 自治体の災害対策に関するニーズをプレゼン 自治体5団体登壇
16時25分	施策・事例紹介	能登半島地震を踏まえた有効な新技術・防テクPF事業 内閣府 松山市役所 株式会社ドーン
16時40分	マッチングピッチ	企業:課題・ニーズピッチ 企業の災害対策に関するニーズをプレゼン 企業2団体登壇
17時10分	終了	

プログラム (技術展示)

技術展示(10時～17時)

時間	会場	内容
12時～17時	STATION Ai M3F 大会議室	技術展示(屋内展示) 災害対応の技術サービスの展示
12時～17時	STATION Ai 駐車場	技術展示(屋外展示) トイレカー等の展示
10時～16時	鶴舞公園	技術展示(屋外展示) 住居用トレーラーハウスの展示

第10回 マatchingセミナー

マatchingセミナーへの参加 (現地参加・オンライン参加)

当日会場、又はオンラインでのセミナー参加はこちらからお申込みください



現地参加申込みで技術展示も御覧いただけます。
登録期限: 2025年2月17日(月)18:00まで

お申込みURL: https://boutech-pf-r6.resv.jp/direct.php?direct_id=22



会場
案内

STATION Ai

愛知県名古屋市昭和区鶴舞1-2-32



セミナー会場 1F イベントスペース



エントランス

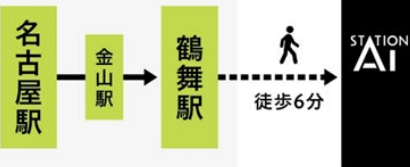


〒466-0064

愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号

JR鶴舞駅 (STATION Ai前 駅) から徒歩6分 ※名古屋駅から2駅

JR中央本線(2駅)



お車でお越しの際は隣接の鶴舞公園南駐車場(名古屋市昭和区鶴舞1-125)をご利用ください。

当日は「STATION Ai 駐車場」はご利用になれません。

企業: 技術サービスピッチ・個別相談会・技術展示(屋内)のお申込みには防テクPFマatchingサイトへの登録が必要です

未登録の方は
こちら

防テクPFマatchingサイト登録の御案内

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

登録料無料のマatchingサイトへの登録はこちら。
左記URL又は右記QRコードより登録をお願いします。



セミナーのお問合せ

○株式会社DNPエスピーイノベーション(内閣府委託事業受託社) 担当: 那須、秦、村山
メール: boutech_pf@team.dnp.co.jp TEL: 03-3235-9511 (受付時間: 平日10:00~18:00)



10時00分～10時20分

メイン講演 名古屋大学



「能登半島地震に学ぶ南海トラフ地震対策」

名古屋大学 名誉教授
福和 伸夫

我が国の災害対応は、災害の度にその教訓を踏まえて課題を明確化し、対応を進化させてきた。そのような中、能登半島地震では、備蓄や耐震化等の事前の備えの重要性が改めて明らかになるとともに、計画等が十分に機能しなかった面や様々な困難な状況も見られた。人口減少・少子高齢化の進行やニーズの多様化など社会形態が変化する中、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫性も高まっており、防災対策を抜本的に強化し、あらゆる主体が総力戦で災害に臨むことが強く望まれる。

福和 伸夫(ふくわ のぶお)

1981年名古屋大学大学院修了後、清水建設(株)、91年名古屋大学工学部助教授、97年同先端技術共同研究センター教授、2001年同環境学研究科教授、12年同減災連携研究センター教授(12～21年センター長)を経て、22年同定年退職・名誉教授。23年～中央防災会議 防災対策推進会議 南海トラフ巨大地震対策検討WG主査、25年～防災庁設置準備アドバイザー会議主査。

10時20分～10時35分

メイン講演 愛知県



愛知県が仕掛けるスタートアップ・エコシステムの形成
—更なるイノベーション創出に向けて—

愛知県 経済産業局革新事業創造部
スタートアップ推進課 戦略推進グループ 課長補佐
藤井 智也

2018年に策定した「Aichi-Startup戦略」に基づき、スタートアップの革新的なビジネスモデルと、本県の強みであるモノづくりの伝統や優れた技術・技能との融合による新たなイノベーションの誘発、本県産業の成長拡大を目指す取組をご紹介します。

藤井 智也(ふじい ともや)

民間企業にて、主に人事部門での業務を経験後、愛知県庁に入庁。入庁後、建設分野にて対外折衝・調整業務を担当の後、経済労働分野にて産業振興・指導業務、企画調整的業務を担う。

10時35分～10時55分

メイン講演 スタートアップ・ベンチャー企業



能登半島地震に学ぶ南海トラフ地震対策

WOTA株式会社

執行役員 渉外統括

越智 浩樹

WOTAは、排水を回収し、再生・循環利用できる「小規模分散型水循環システム」を開発しています。本システムは災害時の断水下でも水利用を可能にします。能登半島地震での学びを踏まえ、国難級災害への備えや今後の水インフラのあり方について導入事例とともにご紹介します。

越智 浩樹(おち ひろき)

電通にて日本初のメディア企画を複数実現後、飲料ブランドのチーム統括を経験。その後、スタートアップ支援組織を立ち上げ、IPO支援や大企業との業務提携を推進。WOTA参画後、事業開拓を担い、複数の自治体での導入や災害支援体制を構築。現在は渉外統括として、政府・自治体・関係企業との中長期戦略、実行を担う。

14時05分～14時25分

メイン講演 愛知県



あいちモビリティイノベーションプロジェクト 「空と道がつながる愛知モデル2030」

～災害時のドローンの利活用に関する取組について～

愛知県 経済産業局産業振興課

次世代産業室 モビリティイノベーション 推進グループ 主査

水野 祐介

愛知県では、プロジェクトでの活動を通じて災害発生時にスムーズにドローンを利用するスキームを構築するとともに、災害に備え、平時のビジネスで普段から運用するデュアルユースの社会実装モデルを検討しています。本講演では今年度の検討内容をご紹介します。

水野 祐介(みずの ゆうすけ)

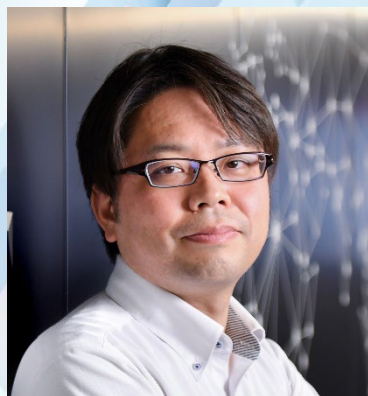
2010年に愛知県庁入庁

2022年に民間提案による官民連携プロジェクトを創出する仕組み「A-idea」を構築

2023年に第一号プロジェクトとして「あいちモビリティイノベーションプロジェクト」の立ち上げ・推進に携わる

15時35分～15時55分

メイン講演 スタートアップ・ベンチャー企業



スタートアップがいかに防災を変えるか —AIで挑む防災DXの最前線—

株式会社Spectee

代表取締役

村上 建治郎

「"危機"を可視化する」をミッションに、SNSや気象データ、カーナビ情報、道路・河川カメラなどのデータから災害やリスク情報を解析し、被害状況の可視化や予測を行っています。

村上 建治郎(むらかみ けんじろう)

2011年に発生した東日本大震災で災害ボランティアを続ける中、被災地からの情報共有の脆弱性を実感し、被災地の情報をリアルタイムに伝える情報解析サービスの開発を目指し株式会社Specteeを創業。

施策・事例紹介

13時50分～14時05分



「研究開発が生み出す技術シーズと社会実装に向けた官民共創」

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

社会防災研究領域長

臼田 裕一郎

臼田 裕一郎(うすだ ゆういちろう)

長野県生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒、同大学院政策・メディア研究科修了。博士(政策・メディア)。2006年防災科学技術研究所入所。防災情報に関する研究開発に従事するとともに、筑波大学教授(協働大学院)としての人材育成、AI防災協議会理事長・防災DX官民共創協議会理事長としての防災DXの推進に努める。

メインセッション1 パネルディスカッション

防災×テクノロジーの未来 ～スタートアップの役割と期待～

災害大国である我が国は、幾多の災害を経験し、災害対応へのノウハウ、技術を蓄積し、近年、デジタル技術を活用した災害予測・把握や、避難生活の環境改善等の分野での新技術・サービスが数多く誕生しております。今回、産官学を代表する有識者の方にお集まりいただき、需要と供給、またそれを支援する立場から、防災産業の未来や社会全体のレジリエンス強化を目指す取組等について、語っていただきます。



モデレーター

一般社団法人 日本防災プラットフォーム

高田 佳紀(たかだ よしのり)

(一社) 日本防災プラットフォーム副代表・デジタル委員長(所属:日本電気株式会社)。防災DX官民共創協議会 部会統括として防災DXの社会実装に取り組む。他に(特非)日本PFI・PPP協会シニアアドバイザー、秩父市事業推進アドバイザー等に従事。



パネリスト

独立行政法人国際協力機構(JICA)

国際協力専門員 西川 智(にしかわ さとる)

国土庁防災局、国連人道問題局、アジア防災センター、内閣府防災等で国内外の災害対応と新規の防災政策を提案、3回の国連防災世界会議に深く関わり、国土交通省、水資源機構理事、名古屋大学教授などを経て、2023年よりJICA及び東北大学特任教授。



株式会社Liberaware

代表取締役 関 弘圭(みんほんきゅ)

経済産業省・資源エネルギー庁「平成25年度発電用原子炉廃炉等・安全技術基盤整備事業のプロジェクト」ドローンのシステム開発。内閣府「ImPACTタフ・ロボティクス・チャレンジ」災害対応飛行ロボットのシステム開発に従事。2016年8月に独立し、株式会社Liberawareを設立。



株式会社みずほ銀行

イノベーション企業支援部 部長 春原 康人(すのはら やすひと)

国内営業店にて、鉄鋼会社、ディスカウントストア等の大企業担当を歴任。2021年イノベーション企業法人部創設メンバーとして、グロース期の上場企業・スタートアップ支援に従事。2024年より現任



愛知県防災安全局

防災部 部長 岡田 晴道(おかだ はるみち)

2021年4月 愛知県防災安全局防災部災害対策課長
2023年4月 愛知県防災安全局防災部防災危機管理課長
2024年4月 愛知県防災安全局防災部長



内閣府政策統括官(防災担当)付

参事官(防災計画担当) 吉田 和史(よしだ かずふみ)

2004年、国土交通省入省。住宅局、自動車交通局、道路局、九州地方整備局、鉄道局、福島県庁(出向)、不動産・建設経済局、航空局、道路局、大臣官房を経て、2024年より現職。

メインセッション2 パネルディスカッション

災害をチャンスに変える ～地域の未来を創るレジリエンス戦略～

大規模災害が頻発する中、テクノロジーは防災の課題を解決する新しい展開を導き出します。災害をチャンスに変える防災産業の発展は、この地域のレジリエンスを飛躍的に高める可能性を秘めています。

このセッションでは、防災産業を創り出し、それをつなぎ、支援する各側面から、地域の未来を創るレジリエンス戦略として、防災産業の発展に向けたアイデアを語っていただきます。

モデレーター

名古屋大学

名誉教授 福和 伸夫(ふくわ のぶお)

1981年名古屋大学大学院修了後、清水建設㈱、91年名古屋大学工学部助教授、97年同先端技術共同研究センター教授、2001年同環境学研究科教授、12年同減災連携研究センター教授(12～21年センター長)を経て、22年同定年退職・名誉教授。23年～中央防災会議 防災対策推進会議 南海トラフ巨大地震対策検討WG主査、25年～防災庁設置準備アドバイザー会議主査。



パネリスト

KTX株式会社

代表取締役 野田 太一(のだ たいち)

陸上自衛隊幹部候補生学校卒業。奈良県立医科大学医学科卒業 医師免許取得。同大学大学院医学研究科修了 博士(医学)取得。同大学付属病院勤務 医員および博士研究員を経てKTX株式会社 代表取締役社長 日本医師会認定産業医



WAA ReSCue 主宰

島田 由香(しまだ ゆか)

慶應義塾大学卒業後、パソナを経て、米国コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。日本GEにて人事マネジャーを経験し、2008年ユニリーバ・ジャパン入社。2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。日本企業のウェルビーイング経営実現に取り組んでいる。一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事、Team WAA! 主宰。



岡崎信用金庫

副理事長 畔柳 雅宏(くろやなぎ まさひろ)

平成17年11月～ 岡崎信用金庫 東刈谷支店長等を歴任。平成25年5月～ 同 岡崎第一ブロック長等を歴任。平成27年6月 同 理事。平成29年6月 同 常務理事。令和5年1月 同 専務理事。令和6年4月 同 副理事長



名古屋市経済局

経済局長 吹上 康代(ふきあげ やすよ)

平成24年 4月 市民活動推進センター所長 平成31年 4月 市民経済局総務課長 令和 2年 4月 経済局イノベーション推進部長 令和 3年 4月 経済局産業労働部長 令和 4年 4月 環境局環境都市推進監 令和 5年 4月 経済局長



13時5分～13時50分

企業:技術・サービスピッチ 自治体・企業の災害対応を効率化する技術をプレゼン

団体名	分野	技術・サービス
株式会社はんぼさき	被害情報収集	チームで使う共有地図 LivMap (リブマップ)
スカイビュージャパン株式会社	被害情報収集	ドローンを活用したフェーズフリー型防災DX
株式会社YDKテクノロジーズ	災害本部運営支援	災害情報管理システム
株式会社ロジクトロン	避難生活支援	災害発生時における大型ドローンによる支援物資運搬
東日本電信電話株式会社	生活再建支援	被災者生活再建支援システム
アジア航測株式会社	災害本部運営支援	災害対策本部の「情報収集」「情報判断」「情報伝達」機能強化を目的としたクラウド型の災害情報システム
能美防災株式会社	避難生活支援	地域の避難所を、住民の力で。避難所開設・運営支援アプリ「NHOPS」

15時55分～16時25分

自治体:課題・ニーズピッチ 自治体の災害対策に関するニーズをプレゼン

自治体名
愛知県名古屋市 防災危機管理局 防災企画課
愛知県豊橋市 防災危機管理課
愛知県西尾市 危機管理局 危機管理課
愛知県蟹江町 総務部 安心安全課
三重県 防災対策部 地域防災推進課

16時40分～17時10分

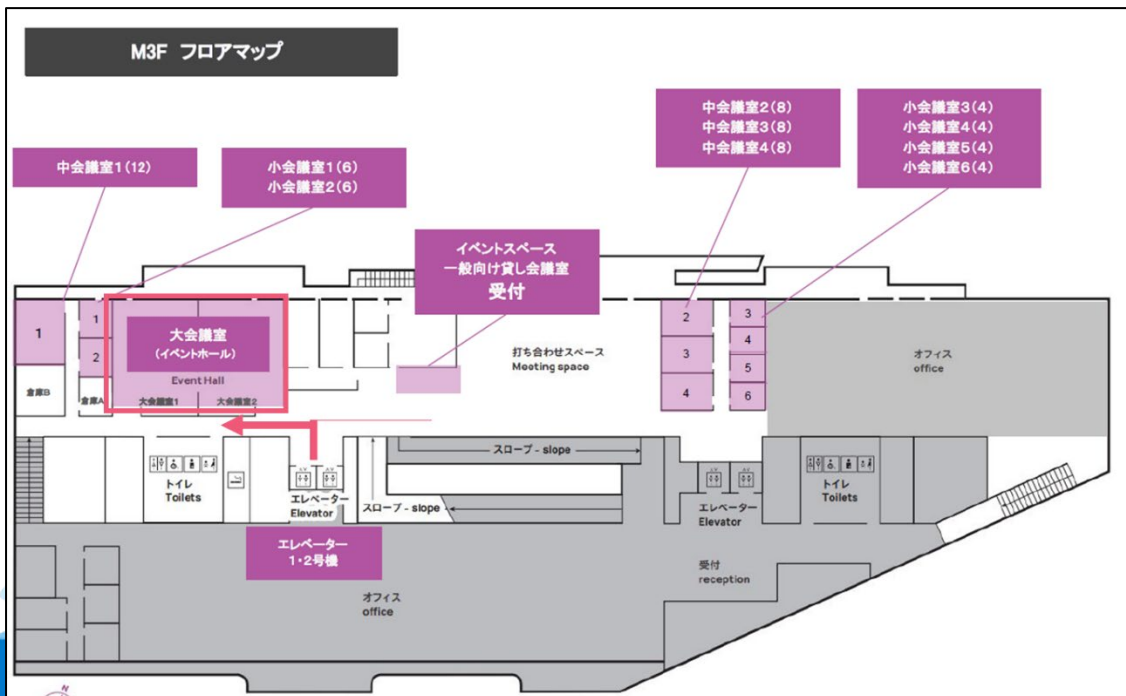
企業:課題・ニーズピッチ 企業の災害対策に関するニーズをプレゼン

団体名	分野	課題・ニーズ
イオン株式会社 総務部	企業防災	イオンの防災の取り組みについて
株式会社豊田自動織機 総務部防災室	企業防災	防災の取組に関する現状と課題認識

技術展示(屋内) 2月20日 12時~17時

技術展示(屋内) M3F 大会議室

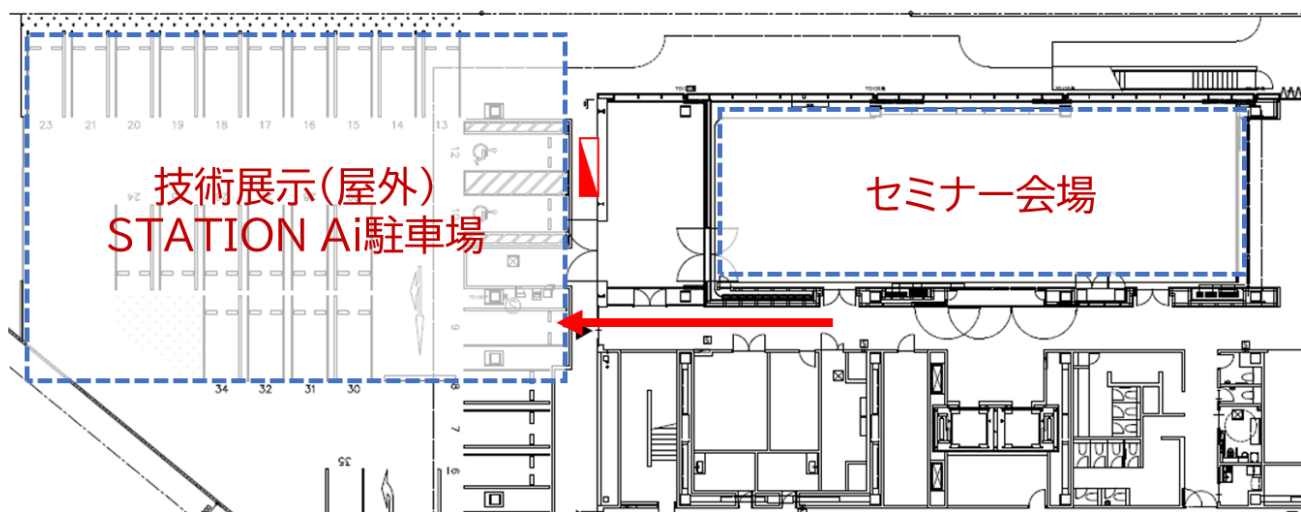
団体名	団体名	団体名
一般社団法人 Do It Yourself	Maru Su Bags	株式会社ロジクトロン
白山工業株式会社	太平洋工業株式会社	ファミリーレンタリース株式会社
株式会社パソナ	日本工営株式会社 名古屋支店	モバイルクリエイト株式会社
株式会社YDKテクノロジーズ	株式会社イーコース	能美防災株式会社
国際航業株式会社	株式会社メテックス	川崎重工業株式会社
株式会社日立製作所	NTN株式会社	株式会社プロドローン
ミサワホーム株式会社	株式会社プロステクノ	KDDI株式会社
株式会社落雷抑制システムズ	株式会社白獅子	株式会社Spectee(1F展示)
株式会社建設技術研究所	I・T・O株式会社	株式会社Liberaware(1F展示)
株式会社チャレナジー	株式会社信防エディックス	



技術展示(屋外) 2月20日 12時~17時

技術展示(屋外) STATION Ai駐車場

団体名	展示物
株式会社モリタ	トイレカー
KDDI株式会社	スターリンク
KTX株式会社	頑太郎(屋内設置耐震シェルター)
株式会社LIFULL ArchiTech (名古屋工業大学発ベンチャー)	インスタントハウス



技術展示(屋外) 鶴舞公園

団体名	展示物
一般社団法人 日本RV・トレーラーハウス協会	住居用 トレーラーハウス
<p>災害時での支援に使われる『トレーラーハウス』の 実物展示をして体感いただく。 トレーラーハウスとは建築基準法に遵守した安心安全で 快適な『クルマ』である。実際に応急仮設住宅として使わ れるのはさらに1.5倍広い35m程度のものであるが、 今回の20㎡のもので1人であれば十分快適であるこ とが実感していただけたらと思う。他人事でなく万一自分 が災害に見舞われた時、こういうところで暮らすのか、 と現実的に考えていただきたい。</p>	

